

日常生活動作に対するリハビリテーションの効果（2019年度）

入院患者全対象

項目	全体 (N=707)	運動器 (n=308)	廃用症候群 (n=263)	呼吸器 (n=105)	脳血管 (n=31)
年齢, 歳	78	76	79	81	78
性別, 女性%	51.2	63.3	44.1	38.1	45.2
透析あり, %	53.7	41.7	66.5	55.2	61.3
介入日数, 日	29	33	23	27	36
在宅復帰率, %	72.7	81.6	68.1	62.9	58.1
自宅復帰率, %	65.9	76.9	60.1	51.4	54.8
入院時 FIM, 点	79.4	85.1	79.1	65.3	73.6
退院時 FIM, 点	86.4	95.8	84.3	67.4	76.4
FIM 利得, 点	7.0	10.7	5.1	2.1	2.8

急性期病床のみ

項目	全体 (N=482)	運動器 (n=172)	廃用症候群 (n=217)	呼吸器 (n=75)	脳血管 (n=18)
年齢, 歳	78	76	79	81	80
性別, 女性%	51.2	63.4	44.1	40.0	44.4
透析あり, %	59.8	43.0	71.4	61.3	72.2
介入日数, 日	24	28	21	22	38
在宅復帰率, %	70.5	78.5	67.7	61.3	66.7
自宅復帰率, %	64.7	74.4	61.3	53.3	61.1
入院時 FIM, 点	78.9	85.0	79.2	67.4	66.4
退院時 FIM, 点	84.0	92.2	83.9	68.6	71.7
FIM 利得, 点	5.0	7.1	4.7	1.2	5.2

地域包括ケア病棟直入院のみ

項目	全体 (N=93)	運動器 (n=32)	廃用症候群 (n=32)	呼吸器 (n=19)	脳血管 (n=10)
年齢, 歳	80	79.3	80.1	80.9	76.2
性別, 女性%	39.8	53.1	28.1	31.6	50.0
透析あり, %	45.2	53.1	37.5	42.1	50.0
介入日数, 日	29	27	31	26	34
在宅復帰率, %	67.7	71.9	68.8	73.7	40.0
自宅復帰率, %	55.9	68.8	50.0	52.6	40.0
入院時 FIM, 点	79.8	83.7	79.6	70.4	85.8
退院時 FIM, 点	84.8	90.5	85.4	74.6	83.8
FIM 利得, 点	5.0	6.8	5.8	4.3	-2.0

入院患者全対象【透析を受けている患者の比較】

	透析あり (n=380)	透析なし (n=327)
年齢, 歳	76	80
性別, 女性%	38.9	66.4
介入日数, 日	29	28
在宅復帰率, %	71.7	74.6
自宅復帰率, %	66.6	65.1
入院時 FIM, 点	79.6	79.3
退院時 FIM, 点	84.8	88.3
FIM 利得, 点	5.2	9.0

※FIM (Functional Independence Measure:機能的自立度評価法)

日常的な基本動作を行えるかどうかを判断するもので、運動項目と認知項目の計18項目を7段階で評価します。得点が高ければ高いほど日常生活が行えると判断します。

項目		点数	
運動項目	セルフケア	食事 (箸・スプーン)	1~7
		整容	1~7
		清拭	1~7
		更衣 (上半身)	1~7
		更衣 (下半身)	1~7
		トイレ	1~7
	排泄	排尿コントロール	1~7
		排便コントロール	1~7
	移乗	ベッド (いす・車いす)	1~7
		トイレ	1~7
		浴槽、シャワー	1~7
	移動	歩行、車いす	1~7
階段		1~7	
認知項目	コミュニケーション	理解 (聴覚、資格)	1~7
		表出 (音声、非音声)	1~7
	社会的認知	社会的交流	1~7
		問題解決	1~7
		記憶	1~7
合計		18~126	

採点基準

自立	7: 完全自立 6: 修正自立
部分介助	5: 監視
介助あり	4: 最小介助 3: 中等度介助
完全介助	2: 最大介助 1: 全介助